

## 一般演題 1

## バイオマーカー①

第1日目 12月7日(金) 10:30~11:00

第3会場 (ザ・プリンス パークタワー東京 地下2階 コンベンションホールD)

座長 建石 良介 東京大学医学部消化器内科

- O1-1 Gd-EOB-DTPA 造影 MRI びまん肝画像解析による drug-bilirubin interaction 評価  
順天堂大学練馬病院消化器内科 大久保裕直 (おおくぼ ひろなお)
- O1-2 肝細胞癌における血清 FGF19 と AFP を用いたソラフェニブの治療効果予測の検討—分子標的薬の使い分けを見据えて—  
千葉大学医学部附属病院消化器内科 前田 隆宏 (まえだ たかひろ)
- O1-3 握力低下のある肝疾患患者では eGFR Creatinine 値以上に腎機能が低下している  
JCHO 徳山中央病院消化器内科 沖田 幸祐 (おきた こうすけ)

## 一般演題 2

## バイオマーカー②

第1日目 12月7日(金) 11:00~11:40

第3会場 (ザ・プリンス パークタワー東京 地下2階 コンベンションホールD)

座長 加藤 孝宣 国立感染症研究所ウイルス第二部第三室(腫瘍ウイルス室)

- O2-1 慢性肝疾患における筋損傷マーカー Titin N-fragment の尿中測定とその臨床的意義  
筑波大学人間総合科学研究科 押田 夏海 (おしだ なつみ)
- O2-2 肝疾患において血清クレアチニン・シスタチンC比は骨格筋量とアルブミン値を反映する  
三重大学医学部附属病院消化器・肝臓内科 玉井 康将 (たまい やすゆき)
- O2-3 C型慢性肝炎に対する DAAs 治療前後の糖脂質代謝マーカーおよび肝線維化マーカーの推移についての検討  
宮城厚生協会坂総合病院肝臓内科 諸沢 樹 (もろさわ たつき)
- O2-4 血清ケモカイン定量測定による DAA 治療効果予測は有用か  
信州大学消化器内科 山崎 智生 (やまざき ともお)